

「箕輪町防災交流施設（仮）基本設計」

パブリックコメントの結果

1. 募集期間 令和4年10月21日～令和4年11月21日
2. 意見提出者 10人
3. 意見内容 37件

（※長文にわたる内容については、要点のみの抜粋とさせていただきます。）

No.	意見・質問	回答及び方針
運営計画について		
1	交流のキーマンになれるような人が駐在していたら良いと思います。	施設の運営方法につきましては、現在検討を進めているところです。 指定管理等による運営を行う場合は、住民の方が気軽にお立寄りいただけるような事業者を選定していきたいと考えています。
2	役所の分室、もしくは行政書類の引き出しサービスなどは考えていないのか。	
3	これからの箕輪町での防災、災害、地域福祉、地域交流を考えたときに、地域おこし協力隊の事務所があると町民と顔の見える関係づくりができて良いと思います。地域おこしが進むように思います。 町の社協さん、まいさぼ上伊那さんの機能の一部や事務所があると町の困りごと相談、様々な生活の困りごとや不安に対応できると思うのでアウトリーチもできるので良いと思います	
4	地域での交流やイベント開催する場所に、気軽に相談（交流）できる場所を創ってほしいです。	
5	施設を借りる際は、オンラインで予約出来たら良いと思います。	

No.	意見・質問	回答及び方針
6	<p>カフェの運営は、営利目的なのか、税金投入なのか、状況により頓挫なのか。業者には何を望み、町民にはどこまで運営状況を開示できるのか。</p>	<p>カフェコーナについては、『にぎわいが創造されていく場』、多世代に居心地が『快適な居場所』を目指し、アンケート等のこれまでの検討により設置を計画しています。</p> <p>カフェについては、行政が運営するのではなく、指定管理による運営を想定しており、住民の方が気軽にお立ち寄りいただけるカフェ運営を行える事業者を選定したいと考えています。</p> <p>運営状況・運営方法の開示について、事業者選定の段階で検討していきます。</p>
7	<p>フリースペースの利用時間帯、滞在時間は検討しているのか。</p>	<p>学生の居場所、勉強できる場、高齢者や子育て中のお母さんが集まれる場所、個人でも気軽に立ち寄り、打合せができたり、何かの待ち時間に少し時間を過ごせる場所を目的としています。</p> <p>利用する方によって利用時間帯、滞在時間は異なるため、各利用者が利用、滞在しやすい空間を目指して計画を進めています。</p>
防災計画について		
8	<p>昨今、避難する時は、家族同様のペットも一緒に同伴するような世の中になってきました。</p> <p>その時の対処法は、考えているのか。</p> <p>避難所の駐車場に車を停めて、車内でペットと過ごす方もいると思うが、少し避難所の室内に入る際、犬の足洗い場や室内に毛の持ち込み防止にクリーンルームのような風シャワーがあった方がよい。ペットの毛や煙草のニオイ、強い香水がついた服で室内に入ると、人によってはアレルギー反応を起こします。（風シャワーは避難時にしか使用しない）</p> <p>なお、ペットがいるから避難所には行かないという選択をする方が多いと思いますが、タバコや香水、化学物質の臭いは敏感の人だけでなくペットや子どもにも害になります。</p>	<p>避難所でのペットの受入れについては、施設の外にテントの設置による避難スペースの設置を想定しています。</p>

No.	意見・質問	回答及び方針
9	お年寄りやら冷え性の人たちが避難した時、フローリングの上に布団（マット）を敷いても床からの冷えが伝わるので、冬は二重窓（簡易ならDIYで作れますし、暖房費の節約に繋がります）に、床暖房があると良いですね。	
10	避難で電気が使えないなら厚みがある畳を全体的に敷いたら、日常使いでも幼児や講習等で喜ばれるかも。また、薪ストーブがあれば電気がなくても室内が温まります。	施設の断熱性能については新省エネ法に適合するように計画しています。窓に関しては複層ガラスを採用し高断熱化を目指しています。
11	太陽光発電だけでなく、小規模で良いので風力発電も取り入れて蓄電池を備えたら、より停電時に備えられるのではないのでしょうか？ 必須ではありませんが、薪ストーブをどこかに設置したら、より温もりが出るのではないのでしょうか。炎は人の心を和ませます。無論子どもが触れないよう柵等で保護します。停電時の暖房と灯りとしても有効と思われれます。なおオイルランプも非常用に備蓄したらどうでしょうか。	施設には蓄電池設備を設置しガスバルクによる非常用発電を計画しており、災害時にも物流復旧にかかる3日間の冷暖房設備を使えるように計画しています。マット等の防災倉庫に入れる備蓄品および風力発電と薪ストーブ、オイルランプの備蓄に関しては、いただいた御意見も参考にさせていただきます、今後検討していきます。
12	冷たい食事は、体を冷やすから調理室（避難時は、ラウンジで自由に調理ができますか？）や焚き火が出来る場所があると良いかも。 フライパンで飯ごう炊さんのように、お米を炊けて温かいものを食べる事ができます。	本施設に調理室はありませんが、災害時にはプロパンガス設備のバルクタンクによりガスを炊き出し用として利用できるように計画しています。
13	日常使いでは、広々して開放的なイメージですが、やはり避難となると、心にゆとりがなくなります。 ちょっとした我慢も出来なくなる人もでてきますので、個人スペースの仕切り板が各所にできて個室が確保できるような設計だと良いと思います。	災害時において、プライバシーに配慮し、室内に仕切り板（大・小のパーティション）を設置するよう準備していきたいと考えています。
14	トイレについて災害時にマンホールトイレが無いと水が止まった時に大変な事になるのではないのか。	施設1階に災害時でも少量の水で利用できるレジリエンストイレを設け、給水は受水槽を設けております。また断水時を想定し、室内でも使える簡易トイレも準備したいと考えています。

No.	意見・質問	回答及び方針
15	避難所での生活で夜、性的被害にあったと聞く事もあります。 蛍光灯の灯りが調節できるようにしたらどうでしょうか？	いただいた御意見も参考にさせていただき、今後検討します。
16	防災施設という肩書は残るのであるから、町全体の防災計画における位置づけを明確にする必要がある。 街中にある避難所としては収容人数が少ないことは利用価値に不安がある。 地震災害においてはガラス張りの施設は機能できるのか不安である。 説明会の意見にあったように「ボランティアセンターとなる」の考えが納得できる。	箕輪町防災交流施設については、新たな避難所として、箕輪町防災計画や箕輪町防災ハザードマップに「指定2次避難所」として位置づけます。また、備蓄物資や資機材を常備できる防災倉庫の機能も兼ね備えます。 また、災害発生時等は、避難者の避難生活環境を確保するばかりではなく、消防団や自主防災組織の活動拠点としても活用できるように計画しています。
17	災害時にも役立つ町社協、県社協（まいさぼ上伊那）があればスムーズな災害支援に繋がるかと思えます。	さらにボランティアセンターの受入れ活動拠点としても検討しているところです。 ガラスについては、大地震時の構造体の層間変形に追従するよう、エッジクリアランス（地震により窓枠が変形した際に板ガラスと窓枠の接触を防止するスペース）を確保するとともに、飛散防止フィルムを使用することを検討しています。
施設設計について		
18	オムツ替えスペースはもちろん、授乳室、出来ればママロと言う可動式の授乳室を設置して欲しい。	オムツ替えのためのスペースは、授乳室と衛生面で区別するために、ベビーシートを設けた多目的トイレを検討しています。授乳室について調乳から授乳までできる個室の設置を計画しています。
19	ZEBかZEB相当施設を目指し、蓄電池を必須とするとともに、屋根という屋根に太陽光を乗せつつ、壁面にも太陽光パネルの設置を検討すべきと考えます。また、電力供給源にグリーン電力を採用し、SDGsのランドマーク施設を目指して欲しいと思います。せっかく建てるので、日本で一番の最先端施設となるべく考え抜いた施設にしてください。期待しています。	新省エネ法等で定められるNearly ZEBの導入を前提として計画を進めています。太陽光発電について、効率的に発電できる量の太陽光発電パネルの敷設を計画しています。蓄電池について、昼間に太陽光パネルで発電した電気で、夜間に消費できる電気（照明）の7割を賄うように蓄電池を計画しています。

No.	意見・質問	回答及び方針
20	上伊那のたくさんの種類の木々を使って、説明を残して欲しい。	いただいた御意見も参考にさせていただき、今後検討します。
21	お年寄りや赤ちゃん連れサークル、ヨガやダンス等の講習、ビジネス会議、中学生の学習場所等、日常は使うとの事ですが、もし和太鼓練習者が使用したときや幼児の走り回る音や騒ぎ声が発生するときの事を考えて、防音と振動が他の部屋や廊下に伝わらないこと。	防音に関して、発生音のレベルにもよりますが、会議や自習、ヨガ、ダンスなど他の部屋との遮音性が求められる部屋には間仕切りを天井裏まで作ることにより防音処置をしています。また子どもが騒ぐなど想定されるスペースは1階に配置し、施設の音環境の計画をしています。
22	二階において、静かな環境のフリースペースとある一方、ダンス・ヨガ教室が実施された場合の防音対策は出来ているのか。	
23	お年寄りの移動を考えると、壁に手すりがあると転倒を防ぎ、歩きやすくなります。	上下移動となる階段とスロープには手すりを設けるように計画しています。またエレベーターも計画しています。なお、その他の手すりは今後検討します。
24	車いすのほか、オストメイトのトイレもあるといい。	車いす使用者、オストメイト、幼児用、オムツ替え等に対応できる多目的トイレを1階に計画しています。
25	<p>外観イメージを拝見する限り、大きな窓がたくさんあるので、冬は隙間風が入り寒く、また夏は日差しが入り暑くなるのではと予想。</p> <p>そのときに、窓にカーテン、ブラインド、ロールスクリーンのどれかを設置すると思われませんが、フリースペースのような個人同士が集まる室内では、各所ごとに開閉操作できる設置方法だと陽に当たりながら読書する人、日陰にして仕事する人など思い思いに、快適な環境を確保することができて良いかと存じます。1つしかない、どちらかが我慢することになり不便です。</p>	<p>ガラス窓には複層ガラスを採用し、高断熱化を目指しています。</p> <p>また日の出の長短により日射量の変化を選択していただけます。</p> <p>カーテン、ブラインド、ロールスクリーン等は現在計画しておりませんが、施設の使用開始後の状況により検討したいと考えています。</p>

No.	意見・質問	回答及び方針
26	大きく傾斜の緩やかな屋根は、積雪時の電力確保、除雪作業考慮されているのであろうか。また二階バルコニーに流れ込んだ雪は除雪可能か、重さに耐えうるのか。	箕輪町で降る積雪量に対応した屋根荷重を見込んでいます。バルコニーは庇 ^{ヒサン} を設けているため、大量の雪がつもることを想定していません。
27	吹抜の安全性には説明会の説明でも不安がある。手すりの間から物が投げられることは想定されないのか、椅子を移動させ飛び出すことは想像しないのか。同様にバルコニーから飛び出すことは想像しないのか。想定の結果、出られないバルコニーを設計したのであれば意味がない物を作るのではないか。	手すりからの物品落下防止対策として、アクリル板等を検討します。高さは、建築基準法に示されている1.1m以上としています。椅子に乗るなど意図的に乗り越えようとした場合を想定していません。町民が育てていく施設としてお互いに常識、節度をもった中で有効利用していただければと思います。
28	北東角のカフェデッキは屋根がかかるとはいえ、木造ではいずれ腐食します。木のぬくもりを活かしたいという気持ちは理解しますが、ささくれ対策としても樹脂製等の人工木の方が良いと思われまます。	デッキは腐食に強い再生木（人工木）による計画としています。
29	キャノピーに出る部分の風除室は必要でしょうか？デッドスペースになりそうな気がします。あるいは全面掃き出し窓のようにしてイベント時や非常時に屋内と一体的に運用できるようにしないと、実際に使用し始めると物の出し入れ等で不便に感じると思います。同様にギャラリーの東面の窓も可能ならば全面を、せめて一部を折れ戸式の掃き出し窓にして開閉可能にすれば、イベント時も非常時も柔軟にスペースを運用できると思われまます。	主要出入口は、空調効率の観点で風除室が必要と考えます。また風除室は施設とイベントの案内をするサイネージや、パンフレットを置く場所をとって計画しています。ギャラリースペースの東側窓の開口に関しては今後検討します。

No.	意見・質問	回答及び方針
周辺整備について		
30	<p>完成し、希望通りの活用がさせる中、周辺の利用者の流れについてどこまで検討しているのか。JAが新しくなり、町道6号への道が広がったことで、JA内は役場入口信号の迂路となり、交通量が増えている。また旧国道153号線 養老乃瀧・ローソンからの狭い道も同様である。JA南入口は狭い四つ角である。</p> <p>徒歩の利用者、利用者の車、送迎待ちの車など、施設周辺の流れは検討されているのか。周辺住民の理解はあるのか。</p>	<p>現在、関係部署と連携し周辺環境等の検討を進めているところです。</p>
31	<p>徒歩による利用者の動線は、どのように検討しているのか。駅から離れた施設である。学校・塾への途中にあるわけでない施設である。完成したら遠回りでも使用したいという意見があると確認しているのか。</p>	<p>実際の運用を想定し、交通ルールや新たな整備など、いただいた意見を参考に多世代の方が利用しやすい施設を目指し、令和6年度の開館を目指して、整備を行っていきます。</p>
32	<p>駅から徒歩で向かう場合、町道6号には離れた場所にしか横断歩道が無い。遠回りしろというのか。広域を含めた設計がなされなければ、利用しやすい施設ではない。</p>	
その他について		
33	<p>ワークショップで参加者は、子供から若者に使用価値のある場所を望んだ。ワークショップの終わりに町長は退職後世代の活動の場を望んだ。どちらかの望みは設計・運用趣旨に明確に含まれているのか。</p>	<p>箕輪町防災交流施設（仮）基本計画の中で、多世代に配慮した施設『多世代がシームレスに使える空間』、多世代に居心地がいい『快適な居場所』を設計のコンセプトの一部として計画しており、学生の居場所、勉強できる場、高齢者や子育て中のお母さんが集まれる場所、個人でも気軽に立ち寄り、打合せができたり、何かの待ち時間に少し時間を過ごせる場所を目指して進めています。</p>

No.	意見・質問	回答及び方針
34	<p>箕輪町防災交流施設に、女性が安心して居心地良く過ごせる場所があると良いなと思います。</p>	<p>箕輪町防災交流施設（仮）基本計画の中で、多世代に居心地が『快適な居場所』を設計のコンセプトとしております。今回のパブリックコメントや女性活躍井戸端会議にて実施したアンケート調査などで、いただいた意見も参考にさせていただき、利用しやすい施設を目指して進めていきます。</p>
35	<p>北側、西側隣接地の住民に対して騒音や日照などアンケートや説明文を配布し、より丁寧に説明していくべきと思います。</p>	<p>周辺の住民等に対しては、基本計画策定時に説明・相談を行い、現在の場所を建築予定地と決定しました。今後も施設の詳細や建築工事について、説明等を行っていく予定です。</p>
36	<p>静かな学習室は、利用率の低い松島コミュニティを無料開放すれば充分ではないか。 それよりも、箕輪町の課題の人口減少課題について、20~40代の女性が楽しめるような、子育て世代が箕輪町を離れることがないような、箕輪町といえは〇〇があつていいよね！！と言えるようなシンボルタワーとか、若手文化芸術家の作品を展示した公園などがあるといい。 少しでも人が集まりたくなるような、オシャレなカフェ風施設（あるときは防災カフェ、避難所）にしていきたいと思います。</p>	<p>学生へのアンケート調査では、学習スペースの要望が多くあり、近隣の学習塾や駅からの送迎などに合わせた利用を考え、学習スペースの設置を計画しています。 また、子育て世代の方にも安心してきていただけるようキッズスペースを設け、芸術家や住民の方の作品を展示できるギャラリースペースを設ける計画としています。</p>
37	<p>防災関連の補助金を使用することは、当初の資料に一言あつたが、ワークショップでは触れることなくアンケート等が実施された。初期段階より丁寧に説明が必要だつた。 場所の移動、規模の変更について、本日(11/14)説明会で触れる必要があつた。</p>	<p>松島区との懇談や検討を踏まえ、本施設に防災機能をもたせる計画となりました。施設建設の財源の一部には、防災関連の起債を充てる予定ですが、今回の説明会では、施設の機能や設備等の説明を中心とし、財源の内訳等の説明は省略させていただきました。 また、施設の場所については、地権者等の意向もあり現在の位置とし、町の広報紙等で周知しました。今後も施設の整備を進めながら、広報紙等で周知させていただきます。</p>